

小月小学校だより

# おづき



7月号

児童数：303人

TEL 282-0152

FAX 282-0306

令和2年7月22日発行

安全に気をつけて有意義な夏休みを!

小月小学校 村上 秀夫

5月14日の学校再開以来、お子様の健やかな成長を支え、本校の教育にご協力くださりありがとうございました。なんとか1学期を無事に終えることができそうです。これも、保護者の皆様をはじめ、地域の方々のおかげです。感謝申し上げます。

後1週間ほどすると、いよいよ子どもたちが楽しみにしている夏休みが始まります。今年の夏休みは8月1日から8月23日までという、例年の半分の長さの夏休みとなります。短い夏休みとなりますが、夏休みは、今までの学習や生活を見つめ直し、新学期に備え、志を新たに準備する絶好のチャンスです。来週お渡しする「あゆみ」や個人懇談会での話をご参考にされ、この夏休みに少しでもお子様がよりよく伸びる機会にしていただければと思います。

江戸時代の儒学者である新井白石のエピソード「一粒の米」があります。有名な話ですからご存知の方もおみえになるかもしれません。

以下は、新井白石が子どもの頃、父親から言われたことです。

米びつから米を米一粒とつても入れても、量の変化は分からない。一日勉強したから利口になるわけでもない、一日怠けたから愚かになるわけでもない。しかし、1年、2年と続けていれば必ず変化が見えてくる。



夏休みの過ごし方も同様なのかもしれません。「得意な学習を伸ばす」「苦手な学習を克服する」「家の手伝いを決めて継続する」「朝、起きる時間を決めて規則正しい生活を続ける」等々……。何か続けられるものを見つけ、この夏休み中に続けられれば得られるものがあると思われます。継続できるものは、2学期が始まってからも続けられるとさらにすばらしいと思います。

さて、例年この時期に子どもたちにかかわる海や山の事故、交通事故、熱中症の事故等、日本各地で発生しています。旅行先など、日常と異なる環境にあるときは注意がより必要です。さらに、新型コロナウイルス感染にも細心の注意を払う必要があります。安全に最大限気をつけていただきますようお願いいたします。



そして、時には美術館や博物館、各種イベント等に参加したり、ゆとりをもって過ごしたりするなど、お子様にとって有意義な夏休みにしていただければと思います。

夏休みの経験が2学期からの学校生活をさらに充実させるきっかけや原動力になりますようお願いいたします。